

段波水路上流整流部に係る処分予定財産需要調査について

令和8年6月24日
 原子力規制委員会原子力規制庁
 長官官房技術基盤グループ
 地震・津波研究部門

原子力規制委員会原子力規制庁では、取得した資産の処分の検討にあたって、需要調査を行います。

つきましては、下表をご覧の上、購入等を希望する方(他の国の機関で管理換を希望する場合を含みます。)は、提出期限までに提出先へメール等でご登録をお願い致します。なお、その他ご不明な点がございましたら、提出先までご連絡をお願い致します。

処分予定財産一覧表

区分	財産名	規格	数量	取得単価 (円：税込)	取得金額 (円：税込)	取得 年月日	保管場所	備考
イ	段波水路上 流整流部	L6×65×65 PL3.2t 900×1800× 700+300× 1200×630	1式	739,800	739,800	平成27 年8月 31日	東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 水理実験棟	継続使用：可 傷：有 段波水路上流整流部 は東北大学所有の段 波水路に、水漏れし ないように接合され ている。

- 区分は、(ア)事務用備品、(イ)事業用備品、(ウ)書籍、資料、図書類、(エ)無体財産権(産業財産権等)、(オ)その他の物件(不動産及びその従物)とする。
- 規格は、型式などその財産のスペック等の参考になるものを記載している。
- 保管場所は、現在の財産の保管場所を記載している。
- 備考は、財産の状態を記載している。
- 保管場所での継続使用を希望する場合は、購入希望者が東北大学と直接調整すること。
- 段波水路上流整流部を保管場所から移動する場合は、当該部分を撤去後、原状復帰として長さ3m×高さ0.5m×幅0.3mの鋼材製の貯留水槽を新たに製作し、水漏れしないように段波水路に接合して設置すること。また、当該部分の移動を希望する者の登録に当たっては、鋼材を用いて水槽等の試験装置を製作及び据付・工事した実績を1件以上並びに必要な資格(ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、玉掛け技能講習、床上操作式クレーン運転技能講習)を示すこと。
- 財産の撤去費、原状復帰費、輸送費用は購入希望者が負担すること。
- 質問等を行う場合には、令和8年7月3日(金)12時00分までに電子メールで、下記の原子力規制庁技術基盤グループ地震・津波研究部門に提出すること。

提出先

郵送又は E-MAIL にてご提出願います。

【提出先】 〒106-8450 東京都港区六本木1丁目9番9号 六本木ファーストビル
原子力規制委員会原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門 道口陽子 宛て

【提出期限】 令和8年7月8日（水）17時00分必着のこと(期日は公告時までに会計部門
が決定)

【電話】 03-5114-2226

【E-MAIL】 michiguchi_yoko_r3p@nra.go.jp